

地域交流

1 . セミナー・公開講座等の開催

(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの （植物生命科学科）

第 21 回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和元年 6 月 14 日
- ・場 所：岩手大学農学部（遠隔講義室（生命系スペース C））
- ・テ ー マ：「Canada's Flax Genetics & Breeding Program」
- ・講 師：Dr. Helen M. Booker(Crop Development Centre, University of Saskatchewan, Saskatoon, Canada)
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：上村松生（岩手大学教授）

第 22 回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和元年 6 月 21 日
- ・場 所：岩手大学農学部（遠隔講義室（生命系スペース C））
- ・テ ー マ：「Using the QTLseq pipeline to identify loci associated with powdery mildew and rust resistance in flax (*Linum usitatissimum*)」
- ・講 師：Dr. Lester Young（ Department of Plant Sciences University of Saskatchewan, Saskatoon, Canada ）
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：上村松生（岩手大学教授）

第 23 回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和元年 7 月 9 日
- ・場 所：岩手大学農学部（ 2 番講義室）
- ・テ ー マ：「エフェクター誘導性免疫が決定する根粒菌の宿主特異性」
- ・講 師：Dr. 菅原雅之（東北大学大学院生命科学研究所）
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：川原田泰之（岩手大学助教）

AIC 連携ワークショップ 1

- ・期 日：令和元年 11 月 8 日，19 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-122 号室），岩手大学滝沢農場水田圃場
- ・テ ー マ：「Theories and practical studies for direct sowing of rice seeds in early winter season（イネ初冬直播き水稻栽培法の理論と実践）」
- ・講 師：下野裕之氏（岩手大学教授）
- ・参加人数：16 名

第 23 回 りんどう研究会

- ・期 日：令和元年 11 月 19 日（火）
- ・場 所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）ぼらんホール）
- ・テ ー マ：「夏秋小ギクの電照栽培による開花調節」
- ・講 師：住友克彦氏（農研機構野菜花き研究部門 上席研究員）
- ・テ ー マ：「弱毒キュウリモザイクウイルス（CMV）のりんどう生産への利用」
- ・講 師：井上登志郎氏（日本デルモンテ株式会社農産原料部 種子グループ長）
- ・参加人数：46 名

- ・共 催：岩手農林研究協議会（AFR）

AIC 連携ワークショップ2

- ・期 日：令和元年 12 月 5 日，19 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-205 号室，5 号館（スペースD））
- ・テ ー マ：「Novel technologies developed using Apple Latent Spherical Virus（ALSV） as a vector（リンゴ小球形潜在ウイルスベクター（ALSV）を用いた植物遺伝子解析技術）」
- ・講 師：笠島一郎氏（岩手大学 AIC 研究員），吉川信幸氏（岩手大学教授）
- ・参加人数：16 名

第 24 回 植物生命科学セミナー・第 43 回 岩手育種座談会

- ・期 日：令和 2 年 1 月 17 日
- ・場 所：岩手大学農学部（6 番講義室）
- ・テ ー マ：「野生植物から新しい作物を」
- ・講 師：高橋 有氏（農研機構 遺伝資源センター）
- ・テ ー マ：「イネ胚乳の生殖的隔離を引き起こすオス・メスゲノムのせめぎ合い」
- ・講 師：殿崎 薫氏（岩手大学助教）
- ・参加人数：30 名
- ・世 話 人：畠山勝徳（岩手大学准教授）

AIC 連携ワークショップ3

- ・期 日：令和 2 年 1 月 20 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-205 号室，5 号館（スペースD））
- ・テ ー マ：「高電圧・プラズマの農業・食品安全性への高度利用（Valuable application of high voltage plasma to agriculture and food safety）」
- ・講 師：高木幸一氏（岩手大学理工学部），高橋克幸氏（岩手大学理工学部）
- ・参加人数：8 名

第 25 回 植物生命科学セミナー・第 1 回 岩手大学次世代アグリイノベーション研究センターとの連携による教養セミナー（AIC 連携ワークショップ4）

- ・期 日：令和 2 年 1 月 31 日
- ・場 所：岩手大学農学部（7 番講義室）
- ・テ ー マ：「土と植物をつなぐ菌根菌」
- ・講 師：齋藤雅典氏（東北大学 名誉教授，（一社）日本土壌肥料学会 副会長）
- ・参加人数：72 名
- ・世 話 人：畠山勝徳（岩手大学准教授），佐原 健（岩手大学教授）

AIC 連携ワークショップ5

- ・期 日：令和 2 年 2 月 4 日～ 5 日
- ・場 所：岩手大学農学部（2-122 号室，5 号館（スペースE））
- ・テ ー マ：「National Bioresource Project: Present situation and application in Japan（日本のバイオリソースの現状とその利用方法）」
- ・講 師：川原田泰之氏（岩手大学助教）
- ・参加人数：8 名
- ・世 話 人：佐原 健（岩手大学教授）

AIC 連携ワークショップ6

- ・期 日：令和2年2月12日
- ・場 所：岩手大学農学部（1号会議室）
- ・テ ー マ：「Scientific Publishing in the 2020s: the 2 sides of the coin」
- ・講 師：Prof. Christian S. Hardtke（University of Lausanne, Switzerland）
- ・参加人数：81名

第26回 植物生命科学セミナー

- ・期 日：令和2年2月13日
- ・場 所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）1階遠隔講義室（生命系スペースC））
- ・テ ー マ：「Developing phloem in plant organ formation - a balancing act」
- ・講 師：Prof. Christian S. Hardtke（University of Lausanne, Switzerland）
- ・参加人数：20名
- ・世 話 人：Abidur Rahman（岩手大学准教授）

AIC 連携ワークショップ7

- ・期 日：令和2年2月26日～28日
- ・場 所：岩手大学農学部（7号館セミナー室，寒冷バイオ実験室）
- ・テ ー マ：「Genome editing in plant using CRISPR/Cas9 technique（CRISPR/Cas9による植物のゲノム編集）」
- ・講 師：Dr. Abidur Rahman，Sivan Kalyani（岩手大学農学部）
- ・参加人数：59名

AIC 連携ワークショップ8

- ・期 日：令和2年3月16日，18日
- ・場 所：岩手大学農学部（2号館401室，220室）
- ・テ ー マ：「人工染色体（BAC）の構築，評価とFISHへの利用（Novel technologies for bacterial artificial chromosome（BAC）construction and its evaluation）」
- ・講 師：佐原 健氏（岩手大学教授）
- ・参加人数：8名

（応用生物化学科）

日本学術振興会（JSPS）の産学協力研究第189委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開」シンポジウム

- ・期 日：令和元年10月23日（水）
- ・場 所：盛岡駅西口盛岡地域交流センター（マリオス）18階185・186会議室
- ・テ ー マ：「ケミカルバイオロジー 特別講演会 in 盛岡」
- ・講 師：長田裕之（理研）「盛岡とケミカルバイオロジー」
- ・テ ー マ：「ゼブラフィッシュ表現型を利用した化合物スクリーニングと毒性評価」
- ・講 師：西谷直之（岩手医大）
- ・テ ー マ：「ネコにマタタビ反応を誘起する新規活性物質の同定と嗅覚受容機構に関する新知見」
- ・講 師：宮崎雅雄（岩手大学）
- ・テ ー マ：「ケミカルバイオロジーに基づく岩手県産天然物の現状と将来展望」
- ・講 師：木村賢一（岩手大学）
- ・参加人数：50名
- ・そ の 他：世話人 長田裕之（理研，日本ケミカルバイオロジー学会会長），木村賢一（岩手大学）

(森林科学科)

第226回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年5月31日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部(2号会議室)
- ・テ - マ：震災から8年，住宅復旧の状況と見えてきた課題
- 宮古市田老地区高台移転団地の調査より -
- ・講 師：岩手県立大学盛岡短期大学部 内田信平氏
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：内田信平)
- ・参加人数：10名

第227回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年7月24日(水)
- ・場 所：二戸市浄法寺町・浄法寺総合支所 3階
- ・テ - マ：漆産業の取り組み
- ・講 師：澤尻 寛氏(二戸農林振興センター林務室主査林業普及指導員)
姉帯敏美氏(二戸市漆産業課長)
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：酒井博忠)
- ・参加人数：25名

第228回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年9月19日(木)
- ・場 所：岩手大学農学部(連大棟2階 遠隔講義室)
- ・テ - マ：「森と人を繋ぐ」
- ・講 師：高橋久祐氏(盛岡広域森林組合)
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：伊藤幸男)
- ・参加人数：23名

第229回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和元年11月9日(土)
- ・場 所：盛岡地域交流センター マリオス 187 会議室
- ・テ - マ：「岩手木炭 - 魅力再発見 - 」
- ・講 師： 東京大学 名誉教授 谷田貝光克氏
有限会社谷地林業 窯長 谷地 司 氏(平成30年度農林水産祭内閣総理大臣賞受賞)
炭火焼きとり好古 代表 田代 直也 氏
- ・主 催：木勉会(代表幹事：関野 登，担当幹事：谷内博規)
NPO 法人 才の木
- ・後 援：(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所，(一社)日本木材学会，(一社)岩手県
木炭協会，岩手県木材産業協同組合，岩手県木材青壮年協議会，岩手県
- ・参加人数：40名

第230回木を勉強する会(木勉会)

- ・期 日：令和2年1月16日(木)
- ・場 所：ホテルロイヤル盛岡 3階ロイヤルホール
- ・テ - マ：ミニシンポジウム 漆産業の未来を語ろう！
～漆掻き伝統技術とサイエンスの融合を目指して～
- ・講 師： 岩手大学農学部教授 真坂一彦 氏

「漆という樹木の特性」

株式会社小西美術工藝社取締役 漆生産部門総責任者 福田 達胤 氏

「漆掻きの伝統技法と国産漆を取り巻く状況変化」

株式会社浄法寺漆産業 代表取締役 松沢 卓生 氏

「新たな漆のビジネスモデル」

- ・主 催：木勉会（代表幹事：関野 登，担当幹事：関野 登）
岩手県森林・林業会議
- ・参加人数：93 名

第 231 回木を勉強する会（木勉会）

- ・期 日：令和 2 年 2 月 27 日（木）
- ・場 所：岩手県工業技術センター 3 階 中ホール
- ・テ マ：木材加工技術講習会「木材塗装その 2 -ウレタン樹脂塗料と塗装法」
- ・講 師：キャピタルペイント株式会社 東京駐在所 所長 長澤良一 氏
- ・主 催：木勉会（代表幹事：関野 登，担当幹事：有賀康弘）
岩手県工業技術センター，岩手木工研究会
- ・参加人数：40 名

（附属寒冷フィールドサイエンス教育センター）

牛の臨床繁殖検査等に関する技術研修

- ・対 象：岩手県農業共済組合新採獣医師
- ・期 日：令和元年 6 月 3 日～ 6 月 28 日
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：4 名
- ・内 容：岩手県農業共済組合に新採用された若手獣医師に対し，御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供して，直腸検査による牛卵巣所見を経時的に観察する技術を教授した。

岩手ブルーベリーの会 令和元年年度夏期講習会

- ・期 日：令和元年 6 月 16 日（日）
- ・場 所：岩手県立大学および滝沢農場
- ・参加人数：90 名
- ・内 容：岩手県立大学において，渡邊教員が「土と水から見直すブルーベリー栽培」について講義した。その後，滝沢農場で剪定見本樹を中心に栽培管理について解説した。

ブルーベリー栽培講習会

- ・対 象：岩手町ブルーベリー生産者
- ・期 日：令和元年 6 月 25 日（火）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：30 名
- ・内 容：品種見本園で収穫前のブルーベリーの様子を見学しながら，各品種と特性と栽培管理について説明した。

森林施業基礎講習会（岩手県森林組合連合会初任者研修）

- ・対 象：岩手県内森林組合への就業 5 年以内の職員
- ・期 日：令和元年 7 月 8 日（月）
- ・場 所：滝沢演習林

- ・参加人数：19名
- ・内 容：広葉樹天然林・針葉樹人工林の更新方法並びに保育方法について、教室内の講義と現地見学をしつつの実習を行った。

第82回フォレストテクニカルエクステンション - 地域林業支援プログラム(10)

- ・対 象：高性能林業機械オペレーター研修生
- ・期 日：令和元年8月26日～9月6日
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：8名
- ・内 容：高性能林業機械オペレーター研修生にハーベスタ、フォワーダ、スイングヤードに関する操作実習の支援を行った。

いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」

- ・対 象：岩手県内の農業者等スクール受講生
- ・期 日：令和元年9月18日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：30名
- ・内 容：滝沢農場における、イネ初冬直播き、リンゴ「はるか」栽培技術、ブルーベリー新品種育成、ハクサイ晩抽性育種、クッキングトマト栽培と普及活動、等について、講義と現場での研修を行った。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修（基本技術編）

- ・対 象：畜産技術者，臨床獣医師
- ・期 日：令和元年10月15日，16日（1泊2日）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：10名（外，講師3名，事務局5名）
- ・内 容：北海道，東北，南関東の県畜産試験場等職員，全農いわて職員，開業獣医師に対し，牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する基本的技術について，御明神牧場で飼養する雌牛を研修材料に提供して，講演と実習により教授した。

第80回 フォレストテクニカルエクステンション - 岩大型作業路普及プログラム(42)

- ・対 象：民間林業技術者（フォレストワーカー研修生）
- ・期 日：令和元年11月5日～6日
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：18名
- ・内 容：岩大型作業路の計画・作設技術に関する講義・実習を民間林業技術者（フォレストワーカー（3年目））研修生に行った。講義により作業路作設に関する基本的な考え方を理解するとともに，簡易路線測量，ザウルスロボによる作設実習により，技術修得を目標に行った。

第81回フォレストテクニカルエクステンション - 岩大型作業路普及プログラム(43)

- ・対 象：民間林業技術者（フォレストリーダー研修生）
- ・期 日：令和元年11月11日～12日
- ・場 所：御明神演習林
- ・参加人数：16名
- ・内 容：岩大型作業路の計画・作設技術に関する講義・実習を民間林業技術者（フォレストリーダー研修生）に行った。講義・実習は効率的な細部路網計画の理論と実際を現地踏査，路線測量，

路網配置図作成などを通じて修得することを目標とした。

牛の生体内卵子回収，体外胚生産技術に関する技術研修（産業応用技術編）

- ・対象：臨床獣医師
- ・期 日：令和元年12月9日，20日（11泊12日）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：2名
- ・内 容：山形県畜産試験場職員，全農いわて職員の獣医師に対し，牛の生体内卵子回収，体外胚生産に関する産業応用可能な実用的技術について，御明神牧場内外で飼養する雌牛や株式会社いわちくで採取したと体卵巣等を研修材料に提供して，長期宿泊実習により教授した。

広葉樹施業に関する研修会

- ・対象：自治体所属林業技術者（岩手県・岐阜県・飛騨高山市）
- ・期 日：令和2年1月21日
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：6人
- ・内 容：演習林内の試験地を題材に，広葉樹林の更新方法，木材生産技術，販売についての講習を行った。

（附属動物病院）

岩手小動物臨床研究会（第192回）

- ・期 日：令和元年4月26日
- ・テ ー マ：関節リウマチを疑う犬の一例
- ・講 師：日比孝嘉さん（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：16名

岩手小動物臨床研究会（第193回）

- ・期 日：令和元年5月31日
- ・テ ー マ：酢酸リュープロレリンが奏功した貧血のフェレット
- ・講 師：渡辺拓也先生（松園動物病院）
- ・テ ー マ：四肢の浮腫がみられたリンパ腫の一例
- ・講 師：浅野弘愛さん（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：16名

岩手小動物臨床研究会（第194回）

- ・期 日：令和元年7月26日
- ・テ ー マ：尿道移行上皮癌の犬の一例
- ・講 師：内田直宏先生（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：15名

岩手小動物臨床研究会（第195回）

- ・期 日：令和2年岩月24日
- ・テ ー マ：犬における右心室機能評価の確立と臨床的有用性
- ・講 師：森田智也先生（岩手大学小動物内科学研究室）
- ・参加人数：15名

(附属動物医学食品安全教育研究センター)

令和元年度新入職員並びに若手職員研修会

(NOSAI東北家畜臨床研修センター主催 , 日本獣医師会ならびにFAMS共催)

- ・期 日 : 令和元年 8 月 28 日 (月) 13 時 ~ 8 月 30 日 (水) 12 時
- ・場 所 : 岩手大学農学部附属動物病院 産業動物診療棟 2 階視聴覚室
- ・参加人数 : 9 名

6 大学共同開催フォーラム

(主催 : 東北大学 , 東京大学 , 神戸大学 , 大阪府立大学 , 宮崎大学 , 岩手大学)

- ・テ ー マ : 「オリンピックを見据えた家畜防疫と食品安全」
- ・期 日 : 令和元年 9 月 20 日 (金) 13 時 ~ 17 時 10 分
- ・場 所 : 岩手大学総合教育研究棟 (教育系) 2 階 北桐ホール
- ・参加人数 : 77 名 (学外 : 43 名 , 学内および関係者 : 34 名)

令和元年度FAMS診療技術セミナー

- ・テ ー マ : 「産業動物の外科的アプローチを考える」
- ・期 日 : 令和元年 11 月 25 日 (月) 13 時 30 分 ~ 11 月 27 日 (水) 12 時 30 分
- ・場 所 : 岩手大学農学部附属動物病院 産業動物診療棟 1 階実習室 , 2 階視聴覚室
- ・参加人数 : 7 名

食の安全部門研修会

- ・テ ー マ : 「ルーティン手法になった今だからこそ学びたいリアルタイムPCR法」
- ・期 日 : 令和元年 11 月 28 日 (木) 10 時 30 分 ~ 17 時 15 分
- ・場 所 : 岩手大学総合教育研究棟 (生命系) 2 階 スペース F
- ・参加人数 : 11 名

第 6 回東北農場HACCP研究会

(東北農場HACCP研究会ならびにFAMS主催)

- ・期 日 : 令和元年 12 月 21 日 (土) 13 時 30 分 ~ 17 時
- ・場 所 : 岩手大学総合教育研究棟 (生命系) 7 番講義室
- ・参加人数 : 33 名

岩手Farm to Table フォーラム研究会

- ・期 日 : 令和 2 年 1 月 28 日 (火) 14 時 30 分 ~ 17 時
- ・場 所 : 岩手県環境保健研究センター
- ・参加人数 : 26 名

(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの

(附属寒冷フィールドサイエンス教育センター)

第 156 回フィールドセミナー (総合的学習時間における森林学習 (43))

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校 1 年生
- ・期 日：令和元年 7 月 1 日 (月)
- ・場 所：国立岩手山青年の家
- ・参加人数：90 名
- ・内 容：世界と日本の森林の現状と課題についての講義を行った。

第 157 回フィールドセミナー (総合的学習時間における森林学習 (44))

- 技術職員と学ぶ森林作業 -)

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校 1 年生
- ・期 日：令和元年 7 月 2 日 (火)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：90 名
- ・内 容：森林管理作業の体験としての下草刈り作業と自然観察のためのゲームを実施し，森林とその管理についての学習を行った。

(3) 公開講座等

ア 公開講座

(農学部5学科)

第24回農学部5学科(「植物生命科学」「応用生物化学」「森林科学」「食料生産環境学」「動物科学」)の実験講座

- ・対象：高校生・高校教諭
- ・期 日：令和元年7月6日(土)
- ・場 所：岩手大学農学部
- ・参加人数：54人
- ・内 容：各学科の教員が設定した8コースで、学生アシスタントの協力・指導により、実験やフィールドワークを実施した。参加者は、各コースの研究テーマや実験内容の説明・実習を通じて、農学部の研究室ならではの活動を体験した。

(森林科学科)

「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」

- ・対象：高校生
- ・期 日：令和元年11月9日(土)
- ・場 所：岩手大学農学部(滝沢演習林)
- ・参加人数：5人
- ・内 容：樹木の成長と繁殖様式がどのように森林の構造や動態に影響を与えているのか、森林内を散策して説明した。

(食料生産環境学科)

「福島原発事故被災地に通い始めて8年半 - 大学と現場をつなぐ農学教育について考える - 」

- ・対象：一般市民
- ・期 日：令和元年10月30日(水)
- ・場 所：岩手大学農学部(総合教育研究棟(生命系)7番講義室)
- ・参加人数：60人
- ・内 容：東京大学大学院 溝口勝教授に、福島原発事故の被災地における活動事例をご紹介いただいた。

(共同獣医学科)

「獣医学の世界 ~ 獣医学科はどんな研究をしているのだろうか? ~ 」

- ・対象：一般市民
- ・期 日：令和元年8月6日(火)
- ・場 所：岩手大学農学部(総合教育研究棟2階ぼらんホール)
- ・参加人数：70名
- ・内 容：岩手大学共同獣医学科で行われている研究内容は幅広く多岐にわたる。これらのうち、実験動物、コンパニオンアニマル、鶏、産業動物に関する内容を分かりやすく紹介した。

(附属寒冷フィールドサイエンス教育センター)

公開講座 第155回フィールドセミナー 植物観察シリーズ(28)

- ・対象：一般市民・児童
- ・期 日：令和元年6月2日(日)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：20名

- ・内 容：滝沢演習林内の 100 年を超える不伐の森から，様々な外国産の樹木が植えられている針葉樹見本林まで森林内を観察した．

公開講座 第 1 回 大学農場で体験する食と農と生物学

- ・対 象：農業，植物，生物に興味のある高校生，高校生と保護者，高校教員
- ・期 日：令和元年 8 月 1 日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：20 名
- ・内 容：滝沢農場で行われているイネ初冬直播きやブルーベリー品種育成の解説，さらにミニトマトを利用した遺伝の話，収穫物の高品質保存のための実験などを行った．初めての開催であったが，高校生を主体にした参加者から多くの質問も出て，有意義な会であった．

第 14 回哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年 8 月 17 日（土）～ 8 月 18 日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：1 日目 43 名，2 日目 41 名
- ・内 容：講師から自然と人間の関係性にかかわる講義をいただき参加者とディスカッションを行った．併せて演習林内の自然観察を行うガイドウォークを実施した．

公開講座 第 158 回フィールドセミナー 植物観察シリーズ（29）

- ・対 象：一般市民・児童
- ・期 日：令和元年 10 月 6 日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：15 名
- ・内 容：講師の伊藤 勲氏に，この時期に実のなる植物を中心に和名と方言での植物名を教わりながら，滝沢演習林内を散策し，植物を観察した．

公開講座 第 159 回フィールドセミナー 親子シリーズ（27）

- ・対 象：一般市民・児童
- ・期 日：令和元年 11 月 10 日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：14 名
- ・内 容：浅沼晟吾氏を講師に迎え，例年と同様に 10 林班の広葉樹見本林を囲む林道，及び国土交通省との境界である四十四田ダム巡回路を散策しながら，動植物の名前や特徴について教わった．参加者は自ら発見したものを報告しあった．

公開講座「親子でふれあう牧場体験～赤ちゃんうし誕生観察～」

- ・対 象：一般市民・親子
- ・期 日：令和元年 11 月 16 日（土）～ 11 月 17 日（日）
- ・場 所：御明神牧場
- ・参加人数：25 人（親子 10 組）
- ・内 容：トラクタ運転体験（耕起），子牛へのミルク給与，出産観察等を 1 泊 2 日で食事を共にしながら体験させた．

公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」

- ・対 象：一般市民・親子連れ
- ・期 日：令和元年2月16(日)
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：20名
- ・内 容：演習林内の動植物ならびに林業・森林管理に関わるガイドウォークを実施した。

イ アグリビジネス創出フェアへの出展 (附属動物医学食品安全教育研究センター)

- ・対 象：アグリビジネスに関心のある企業，行政，研究機関，大学等の関係者
- ・期 日：令和元年11月20日(水)～22日(金)10時～17時
- ・場 所：東京ビッグサイト西4ホール
- ・参加人数：386名(ブース来場者数)
- ・内 容：下記のタイトルで研究シーズを公開し，アグリビジネスに繋げるためのマッチングの可能性を探った。
「ジビエの衛生管理向上に貢献できる簡易検査法の開発」

ウ その他

(附属寒冷フィールドサイエンス教育センター)

花苗販売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：平成31年4月4日(木)
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：30名
- ・内 容：ピオラなど春の花壇用苗の他，味噌やブルーベリージャムなどの加工品を販売した。

ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年7月17日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：158名
- ・内 容：幅広い年齢層の参加があった。ブルーベリーの品種ごとの味を確認しながら，収穫していた。一部の参加者は，エダマメも摘み取った。その他，農場生産物の販売も行った。

ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年7月24日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：126名
- ・内 容：幅広い年齢層の参加があった。ブルーベリーの品種ごとの味を確認しながら，収穫していた。一部の参加者は，エダマメも摘み取った。その他，農場生産物の販売も行った。

ブルーベリーとエダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年7月31日
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：114名

- ・内 容：日中は30 を超える気温であったが、多くの方が参加した。参加者は、ブルーベリーの品種ごとの味を確認しながら、収穫していた。一部の参加者は、エダマメも摘み取った。その他、農場生産物の販売も行った。

第21回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年8月7日（水）
- ・場 所：ポランハウス
- ・参加人数：150名程度
- ・内 容：農場特別実習に参加した植物生命科学科3年生および食料生産環境学科食産業コース3年生が、自分たちで収穫・調整した農場生産物を販売した。販売物はトウモロコシ、モモ、ブルーベリー、エダマメ、雑穀の他、ブルーベリーや味噌等の加工品であった。オープンキャンパスに合わせて開催したため、利用者には高校生の姿も見られた。

エダマメ摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年9月12日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：75名
- ・内 容：来場者がエダマメの莢の状態を見ながら収穫し、所定のビニール袋に詰め放題で販売した。その他、早生のリンゴや味噌などの農場生産物も販売した。テレビ局の取材が1件あった。

第22回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年11月29日（金）
- ・場 所：ポランハウス
- ・参加人数：
- ・内 容：農場実習 を履修した植物生命科学科2年生および食料生産環境学科食産業コース2年生が、実習内で管理したサツマイモやリンゴを収穫・選別・調整し、森の駅市場で販売した。その他、新米、ヒエ、サトイモ、ダイコン、リンゴジュース、味噌、花苗等も販売した。

リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和元年12月11日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：64名
- ・内 容：家庭用向け「ふじ」などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、それを計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・期 日：令和2年1月15日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：44名
- ・内 容：家庭用向け「ふじ」などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、それを計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

2. その他の地域連携事業

(1) いわてアグリフロンティアスクール

ア 事業実施の背景、目的

(ア) 平成 24 年度までの取組み経過

日本農業の現状を背景とし、国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成するため、経営感覚・企業家マインドを持つ先進的な農業経営者を養成できる教育プログラムの開発と実践が求められた。

岩手大学では、こうした要請に応えるべく文部科学省の支援を受け、岩手大学を事業主体の中心として岩手県及び農業団体と連携し、建学の精神（地域のための農学）に立ち返る「いわてアグリフロンティアスクール」を平成 19 年度に設立して、産官学連携による先進的な農業経営者等の養成を目指す教育を展開してきた。

平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間、農業者、農業関係の県・市町村・団体職員などを対象に、農業経営、生産管理、マーケティング及び農業ビジネス戦略計画書を策定する教育プログラムを開発・展開した。この間、延べ 446 名が本スクールを受講し、延べ 254 名に学校教育法第 105 条に基づき、履修証明書を交付した。また、評価委員会で合格とされた 133 名には、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与している。

(イ) 新体制での取組み(平成 25～27 年度)

前年度までで社会人再教育としての所期の目的が達成され、文部科学省の事業として岩手大学における取組を終了することとした。一方、農業における先導的な経営体育成に向けて岩手県や農業団体より強い継続要望があり、予算を含めた県・農業団体・岩手大学 3 者の連携によって農業者教育を続けることとした。

平成 25 年 4 月 23 日には、岩手県農林水産部長、岩手県農業協同組合中央会常務理事及び岩手大学農学部長の 3 者による「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」を新設して開講式に臨んだ。

本スクールから、岩手県内の認定農業者、農業経営者、農業後継者及び農業従事者等を対象として岩手大学が開発した教育プログラムに基づく教育を展開することとした。また、所定の条件を満たした修了者にはこれまでと同様に学校教育法に基づいて履修証明書を交付し、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与した。平成 25～27 年度の受講者は 89 名で、履修証明書は 66 名に交付、「アグリ管理士」の資格は 61 名に授与された。

(ウ) 平成 28 年度のカリキュラム等の再編と令和元年度の事業内容

岩手県及び岩手大学の長期計画等の見直しを機に、平成 28 年度より過去 3 カ年の実施状況を踏まえ、主に募集対象者や科目構成について大きく見直した。受講対象にはこれまでの認定農業者等に加えて、6 次産業に取り組む者、農村地域活動に携わる者を募集することとし、定員も 30 名から 35 名に増員した。カリキュラムとしては、従来の農業経営科目群に、6 次産業化科目群及び農村地域活動科目群を新設した。修了者の履修証明書交付やアグリ管理士資格授与の手続きは従来と同じである。

令和元年度は前年度の事業内容を踏襲しながら、受講生の要望に応じて教育効果を高めるためにカリキュラムの改善を行なった。平成 28～30 年度及び令和元年度の受講生は 177 名で、履修証明書は 135 名に交付され、「アグリ管理士」は 130 名に授与された。

イ 令和元年度の実施状況

- (ア) 開講式 令和元年 5 月 24 日
- (イ) 開講期間 令和元年 5 月 24 日～令和 2 年 2 月 7 日
- (ウ) 修了式 令和 2 年 2 月 7 日
- (エ) 募集定員 35 名
- (オ) 入学者数 34 名
- (カ) 修了者数 30 名（うちアグリ管理士資格授与者 30 名）

ウ 令和元年度教育プログラム

科目名	日数	時間数	科目群				
			農 業 経 営	6 次 産 業 化	農 村 地 域 活 動		
「経営管理」科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3			
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6			
	人的資源・労務管理	講義	1	6			
	経営成長・経営継承	講義	1	6			
	農業経営戦略論	講義	1	6			
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12			-
「農業ビジネス戦略計画」科目	農業経営戦略演習	演習	1	6		-	-
	経営改善計画演習	演習	1	6		-	-
	農業ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12		-	-
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6		-	-
「食ビジネス戦略計画」科目	農業経営戦略演習	演習	1	6	-		-
	経営改善計画演習	演習	1	6	-		-
	食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12	-		-
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6	-		-
「地域振興戦略計画」科目	地域農業戦略演習	演習	1	6	-	-	
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	-	-	
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6	-	-	
「農業生産管理」科目 *1) 4科目の中から 9時間以上選択	土壌管理(土壌・肥料)	講義	1	6		*1)	-
	病害虫管理(防除・農薬)	講義	1	6			-
	農場の衛生管理	講義	1	6			-
	農業機械	講義・演習	0.5	3			-
「6次産業化推進」科目 *2) 4科目の中から 9時間以上選択	鮮度保持・流通技術	講義	1	6		*2)	
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			
	地域資源活用論	講義	1	6	-		
	食産業ビジネス論	講義	1	6	-		
「農業農村マネジメント」科目	地域担い手形成論	講義	1	6	-	-	
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6	-	-	
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6	-	-	
	都市農村交流論	講義	1	6	-	-	
	地域活性化論	講義・演習	2	12	-	-	
「マーケティング」科目	食の安全管理	講義	1	6			
	商品開発	講義	0.5	3			
	デザインとブランド	講義・演習	1	6			
	インターネットを利用したマーケティング	講義	1	6			
現地研修等 *3) インターンシップ を行う者は*科目 のいずれかと振替	現場スタディ	現地研修	2	12			
	マーケティング改善演習(異業種交流)	演習	1	6			
	マーケティング改善演習*(県内)	現地研修	1	6			
	農業技術先進地研修*(県内)	現地研修	1	6		-	
	農業技術先進地研修*(岩大工学部 農場)	現地研修	1	6			
	6次産業化関連現地研修*(県内)	現地研修	1	6	-		-
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6			
インターンシップ[選択科目]	現地研修	1	6				
合計					165 時間		

凡例： 必修科目 選択科目

(2) AFR（岩手農林研究協議会）

AFRは、岩手県農林研究協議会の略称で、平成10年3月に高橋壯学部長（当時）の提唱で、岩手県内の農林科学技術や研究開発に係わる関係者（県農業研究センター、県林業技術センター、県工業技術センター等の県関係試験研究機関、農林業関係民間企業及び岩手大学地域共同研究センター、岩手大学農学部の関係者）が連携して共同研究等の推進を図り、地域の農林業の振興発展に寄与するために発足、平成30年現在、構成機関は、岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手生物工学研究センター、東北農業研究センター、森林総合研究所東北支所の6公所で、「岩手育種談話会」、「木勉会（木を勉強する会）」など7の研究会が多方面にわたり産官学の共同研究を展開している。

AFRの研究会一覧

【令和2年3月現在】

分類	名称	代表者	目的
農	岩手育種談話会	畠山勝徳（岩大農） E-mail：khatake@iwate-u.ac.jp	岩手県の植物育種に関する事業、研究等を行っている関係者間の研究交流、情報交換を目的とする。
	りんどう研究会	高畑義人（岩大名誉教授） E-mail：ytakahata@iwate-u.ac.jp	りんどうの分子生物学的及び細胞生物学的手法を用いて研究している研究者・技術者及び交配種法等従来技術を用いて品種育種している個人育種家等の相互の情報交換を促進し、もって関連領域の研究活動を活性化し、地域におけるりんどうの振興に寄与するとともに会員相互の学術交流を図ることを目的とする。
業	イワテヤマナシ研究会	片山宏則 （神戸大学大学院農学研究科） E-mail：hkata@kobe-u.ac.jp	岩手県の宝であるイワテヤマナシ（ミチノクナシ）を遺伝資源として蘇らせ、新たな利用方法を開発し、地域振興への活用を図り、次の世代に引き継ぐことを目的とする。
	岩手野菜研究談話会	金澤俊成（岩大教育） E-mail：tkanaz@iwate-u.ac.jp	本会は、岩手県内で研究を行っている野菜関係の研究者が、各自の研究や岩手県内の野菜等について、自由な立場で意見交換を行いながら、互いの研究を深め、岩手県や東北の野菜振興について話し合うことを目的とする。

分類	名称	代表者	目的
林	岩手・木質バイオマス研究会	伊藤幸男（岩大農） E-mail：sachii@iwate-u.ac.jp	この研究会は、木質バイオマス利用の普及を通じて、岩手の風土、地域性に根ざした循環型社会の形成に資することを目的とする。
	木勉会 （木を勉強する会）	関野 登（岩大農） E-mail：sekino@iwate-u.ac.jp	森林・林業・木材産業・建築といった川上から川下までの相互理解を深め、木材利用の活性化を、健全な森林の育成・保全・利用の活性化を通じて、森林の育成・保全・利用の一助となることを目的とする。
業	木質資源総合利用研究会	関野 登（岩大農） E-mail：sekino@iwate-u.ac.jp	低炭素輩出社会並びに高炭素蓄積社会の構築には、木質資源の持続的かつ総合的な利用が重要となる。本研究会は、木質資源の利用拡大に向けて、構成員が係わる分野の技術課題や現状について情報交換を行うとともに、研究連携の基盤を醸成することを目的とする。

3 . 受託研究院の受入

受託 研究員 の区分	新規 継続 の別	氏名	最終学歴		所属会社名 又は 機関名	研究題目	研究期間		受入 研究科 専攻等	指導教員	
			区分				開始	終了		職名	氏名
一般 (長期)	新規	Sirawit Pagdepanichkit	A	平成28年度	タイ王国 チュラロン コン大学獣 医科学部	人と動物の共通感染症や薬 剤耐性菌などの "One Health" に関わる研究	R1.4.11	R2.3.20	共同獣医学科	教授	岡田啓司
一般 (短期)	新規	佐々木 泰平	C	平成24年度	岩手県食肉 衛生検査所	と畜場へ搬入される牛及び 豚の疾病の病理学的検索	R1.9.1	R2.2.29	共同獣医学科	教授	落合謙爾

